

第140回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和4年9月20日(火) 9:15~9:35	場所	議場
出席者	西岡市長、小澤副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、北村議会事務局長、堤企画政策課長、石原健康課長、佐々井新型コロナウイルス感染症対策担当課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルスワクチン接種について 2 新型コロナウイルス感染症への対応について 3 各部連絡事項 			
資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルスオミクロン株対応2価ワクチンの接種について 2 季節性インフルエンザワクチンの供給について 3 With コロナに向けた政策の考え方 4 With コロナに向けた新たな段階への移行 5 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針変更(新旧対照表) 6 東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議(資料) 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7波の感染状況については、やや減少傾向が続いてはいるものの、依然高い水準で推移している。 ・16日実施のワクチン連絡会の中で、2価ワクチンの接種体制等について共有し、実施の方針を固めた。引き続きワクチン接種は継続していくため、各部の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。今回の接種は季節性インフルエンザワクチンとの同時進行で行われる予定であり、対象年齢や回数等、ワクチン接種自体が非常に複雑なスキームとなる。安全、円滑な実施に努め、大きな接種ミスが起きないように、しっかりチェックをしながら事業を進めていただきたい。 <p>1 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オミクロン株対応ワクチンの接種事業について、資料1をもとに説明。 <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に複雑な接種スキームとなっている。問合せも殺到することが見込まれるため、コールセンターの対応含め、なるべくわかりやすい情報発信に努めてほしい。 <p>(健康課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザのワクチンについて、新型コロナワクチンとの同時接種を踏まえ、国のほうで過去最大の供給量を確保しているとのこと。詳しくは参考資料をご覧ください。 				

- ・インフルエンザワクチンは集団会場での接種はないが、医療機関での個別接種ではコロナワクチンとの同時接種が可能となっている。

(市長)

- ・ワクチンの種類に制限はあるのか？

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)

- ・基本的には自由。希望するワクチンが打てるかどうかは、実際の供給量によるところがある。
- ・コロナワクチンについて、他のワクチンを接種する場合、2週間の間隔を置くこととされているが、インフルエンザワクチンはその間隔が撤廃された。そのため同時接種が可能になっている。

(市長)

- ・そのあたりを丁寧に周知してほしい。

(福祉保健部長)

- ・インフルエンザワクチンとコロナワクチンの接種間隔については、市報等含めお知らせをしていきたい。

2 新型コロナウイルス感染症への対応について

(健康課長)

- ・資料3、4、5について説明。
- ・新旧対照表について、国の方針の変更点が反映されている。都の通知についても、国の通達を受けて変更されているものと認識している。

3 各部連絡事項

(総務部長)

- ・職員の感染状況は、9月は本日時点では11人。陽性者数は落ち着いてきているが、濃厚接触の件数は相当数いるという実感がある。引き続き感染対策の徹底をお願いしたい。

(議会事務局長)

- ・第一会議室の傍聴人数を4名から12名に変更している。

(副市長)

- ・市民への周知について、全数把握がなくなることによる案内の変更もお願いしたい。

(以上)